

## 目標達成計画

作成日: 令和元年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	嚥下機能が低下して、食事形態も刻み食を提供している利用者もいる。刻み食にする事で食べ易くなるが、食材本来の形が変わるので何を食べているのか分かり辛い。	メニューを分かりやすく教えてもらう事で、楽しく美味しく食事が食べられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 配膳の時には、メニューを伝える。</li> <li>* 各テーブルにメニュー表を設置する。</li> <li>* 介助が必要な利用者には、何を食べているかその都度伝える。</li> </ul>	6ヶ月
2	6 ・ 30 ・ 31 ・ 47	利用者の重度化・高齢化・認知症進行に伴い、体調不安定や転倒危険のある利用者が増えている。	日々の状態観察と生活環境の整備により、体調の安定と転倒を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 毎日のバイタルチェックと観察により、変化の早期発見に努め、医療機関との連携を図り、素早い対応に努める。</li> <li>* 利用者が活動している時には、見守りや付添いを行い、転倒防止に努める。</li> <li>* 日々の心身状況観察とアセスメントにより、その時その人に応じた環境整備(手すり、クッション材、センサーチャイム等の設置)を行い、抑制を行う事なく安全に過ごせる環境作りに努める。</li> <li>* 薬の副作用を考慮し、主治医や専門医との密な連携を図ると共に、全職員が薬の副作用の理解を深める。</li> </ul>	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。